


東京工芸大学「学生による工・芸共同研究」成果報告書

共同研究責任者	所属・学年： 3年	学籍番号： 824018	氏名： 岩瀬航祐	
申請活動名	衝動（しょうどう）			

指導（支援）教員名	所属・職位	役割分担
永江孝規	メディアアート表現学科 教授	予算管理、活動管理

参加した学生の氏名・所属・学年役割分担		
所属：メディアアート表現学科	氏名：岩瀬航祐	役割：代表、広報、作品制作指揮、展示企画、設営指揮
所属：映像学科	氏名：木村春平	役割：副代表、制作指揮
所属：システム電子	氏名：木村睦	役割：デバイスアドバイザー
所属：メディアアート表現学科	氏名：池田輝	役割：作品制作
所属：メディアアート表現学科	氏名：河岡伸吾	役割：作品制作
所属：メディアアート表現学科	氏名：佐藤朋之	役割：作品制作
所属：メディアアート表現学科	氏名：高山いずみ	役割：作品制作
所属：メディアアート表現学科	氏名：野田哲広	役割：作品制作
所属：メディアアート表現学科	氏名：藤岡唯	役割：作品制作
所属：マンガ学科	氏名：太田守	役割：作品制作

活動の内容（できるだけ詳しく）
<p>外部（ギャラリー等）での展示。外部に向けての広報活動（ブログ、twitter）</p> <p>一般の方になるべく見てもらう機会を設ける。</p> <p>アーティスト作品提供を交渉。</p> <p>展示会での各アーティストとの交流を視野に入れて計画。</p> <p>展示計画の募集、企画、実行、運営。</p> <p>アーティストに制作協力（デレクション、プロデュース）。</p> <p>毎週火曜日、中間報告、作品、展示会場、予算、反省会、改善点などについての会議を開催（スカイプ等）。</p> <p>・第1回展示：茅ヶ崎ジャスコ</p> <p><茅ヶ崎ジャスコ正面玄関入り口>第一回</p> <p>パブリックスペースと一般の人を対象にした作品制作&ワークショップ</p> <p>企画展テーマ「秋だけど夏祭り」</p> <p>格アーティストにはテーマに沿った作品を制作してもらった。デレクション、プロデュース等をした。</p> <p>映像、絵画、絵本、漫画、体験型作品を展示致しました。ねらいは、アートに関してあまり専門的に関わりをお持ちにならない</p> <p>方々にアートの魅力を知ってもらうことです。</p> <p>また、小さいお子様に「つくる」ことに魅力を感じていただく為に、折り紙を主に紙工作のワークショップを開催致しました。</p> <p>開催時間は、1日につき午前11時頃より17時頃までの、約6時間でした。正面入り口と言う事もあり沢山の人の見ってもらえました、</p> <p>また公共的な期間（パブリックスペース）でやったことにより芸術に触れた事の無いまたは触れる機会が無い方達に見</p>

てもらうことが出来ました。

ジャスコ 茅ヶ崎店の正面入口貸しスペースにて、10月8, 9日・10月16, 17日の計4日間開催

テーマ:「秋だけど夏祭り展」

内容:映像・絵本・メディアアート・ワークショップ

4日間で約200人の来場者を記録

・第2回展示:町田・国鉄版画美術絵

「デジタル・インターコネクション2010」展の第二部として開催される「第8回学生メディア・アート展」に参加した。

展示会は11月13~14日、16~21日の計8日間開催された。

美術館という作品を展示するための場所で展示会を学ぶため、また、他大学の学生との交流のため、作品を出展し参加した。

20日には、ご来賓の方々・他大学の学生・教員の方々へ出展作品のプレゼンテーションを行った。

内容:映像・絵本・メディアアート

・第3回展示:デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿

プロジェクトとしては最後の集大成となる展示。会場には、多くの人々が来場する観光地となっているので沢山の来場者、外国人、アーティスト関係者、観光客(一般の人)と交流、品評してもらいやすい環境なので「デザイン・フェスタ・ギャラリー原宿」を選択した。

作品のジャンルは「なんでもあり」。今回工芸チャレンジで行われたプロジェクトが感染症の様に世界的に「感染」していくように願いをこめてテーマを決定した。

2月4日~6日の3日間スペースを借り(デザイン・フェスタ・ギャラリーEAST 2F 201.202)

展示会名は「Pandemic ー芸術は”感染”スル」

内容:写真・絵画・メディアアート

3日間で約300人以上の来場者を記録。

活動のスケジュール

毎週火曜日 会議開催

4月 メンバー募集・スカウト、定例会議開始

5月 制作期間、会場探し

6月 制作期間、会場探し

7月 制作期間、製作者プレゼンテーション

8月 制作期間

9月 制作期間、ブラッシュアップ、企画進行

10月8～9日・16～17日 第一回秋だけど夏祭り展開催
 11月13～21日 第二回学生メディアアート展参加 (国際版画美術館)
 12月 制作期間
 1月 制作期間
 2月4日～6日 第三回 Pandemic 展開催 (デザイン・フェスタ・ギャラリー)

活動により得られた成果

＜茅ヶ崎ジャスコ正面玄関入り口＞第一回

パブリックスペースと一般の人を対象にした作品制作&ワークショップ

企画展テーマ「秋だけど夏祭り」

格アーティストにはテーマに沿った作品を制作してもらった。デレクション、プロデュース等をした。

映像、絵画、絵本、漫画、体験型作品を展示致しました。ねらいは、アートに関してあまり専門的に関わりをお持ちにならない方々にアートの魅力を知ってもらうことです。また、小さいお子様に「つくる」ことに魅力を感じていただく為に、折り紙を主に紙工作のワークショップを開催致しました。開催時間は、1日につき午前11時頃より17時頃までの、約6時間でした。正面入り口と言う事もあり沢山の人に見てもらえました、また公共的な空間（パブリックスペース）でやれたことにより芸術に触れた事の無いまたは触れる機会が無い方達に見てもらえることが出来ました。

展示中はスタッフの呼び込みもあり、正面玄関前を通るお客様、特に親子連れの方々の目に止まりました。各作品、ワークショップ共に多くのお客様にご鑑賞いただき、感想のお言葉を頂戴致しました。ご来場頂いたお客様とメンバーとの交流ができました。ワークショップは特に、ターゲットであるお子様にお楽しみいただきました。

開催日	来場者数
9日	約10名
10日	約20名
16日	約80名
17日	約90名
計	約200名

芸術を見に行くつもりでみにこなかったひとやギャラリーにあまりこない子供達と交流出来たのはとても良い経験になりました。

＜町田版画美術館＞第二回

九州大学大学院芸術工学研究院

首都大学東京

東北芸術工科大学

武蔵野美術大学

東京造形大学

と交流する為に参加させて頂きました。美術館ならではの展示の仕方を試みた。第一回の時とは違い、照明の当て方、展示の配置、プレゼンテーションなどを行いました。学生同士の交流などができ有意義でした二週間の展示で一番長く展示をしました。

他大学との交流が出来たのはとても良い事でした。

<デザインフェスタギャラリー>

三回目の集大成として一番クオリティの高い作品、展示が出来ました。デジタルの作品（インタラクティブ等）はデザインフェスタでは珍しいらしく、お客さんの他のスペースで展示していた人たちにも来て頂いたり、外国人の人たちともカタコトながら意見交換、交流等しました。こちらから出向いてお話をしたり次の双方の企画の提案依頼などの話が持ち上がりました。またデザインフェスタギャラリーのブログに展示期間中全日程掲載させて頂きました。外国語サイトのブログにも掲載されました。スタッフさんとも交流を深められ次に繋がる足がかりとなりそうです。全三回の展示で一番有意義にすごせました。一つの作品は togomama さんが企画するお風呂 TV に出演する予定です。広報の一環としてメンバーブログ、メンバーtwitter で宣伝もして内外部のアーティスト、一般人との交流を今現在も進行中です。

外国人の方、作家、アーティストさんと交流、沢山の人の見てもらう事を成功出来たと思います。

展示時間 11:00~20:00

4日 53人

5日 131人

6日 139人

3日間で約300人以上の来場者を記録

今後の活動予定

東京工芸大学の組織として連携していきたい。アーティストの外部公開の場を提供。アートディレクション、プロデュース。他大学との合作、合同展示。外部ゲストとの合作、合同展示。アーティスト集団、団体を設立。

今回の作品をデジスタ・ティーンズに応募。

デザイン・フェスタ・ギャラリーとデザイン・フェスタに出展。

デザインフェスタ HP <http://www.designfesta.com/index.html>

デザインフェスタギャラリー 原宿

HP <http://www.designfestagallery.com/index.html>

ライブハウスで演奏。

プロデューサー togomama さんのお風呂 TV 制作協力。

展示会、演劇を Ustream でリアルタイム配信。

参考 Twitter <http://twitter.com/#!/mamagoto10>

HP <http://wave.ap.teacup.com/mamagoto10/>

ART JUNCTION さんと NPO 法人立ち上げ

参考 HP <http://artjunction.net/>

活動経費	※金額を記入		
1. 物品費	166806	(円)	(主な内訳)
機器備品支出		(円)	
用品費・消耗品費	164301	(円)	作品制作費
図書・図書資料費	2505	(円)	
その他物品費		(円)	
2. 活動費	246262	(円)	(主な内訳)
旅費		(円)	
通信運搬費	5800	(円)	配送
印刷製本費		(円)	
業務委託費		(円)	
諸会費		(円)	
その他活動費	240462	(円)	ギャラリー賃借代
経費合計	413068	(円)	